



イケダ ケンイチ
池田 謙一

Kenichi IKEDA

学術調査

所属・職名

社会学部メディア学科／社会学研究科 教授

研究分野

メディア学、社会心理学、政治学

研究活動

政治社会心理学に認知科学的なアプローチを展開してきた。世界価値観調査(WVS)、アジアン・バロメータ(ABS)、選挙制度の効果の国際比較研究(CSES)などの国際比較調査の代表を多く務めてきた。また、ソーシャル・ネットワークを通じたソーシャルなメディアやネットワークの形成・普及過程、インターネット・コミュニティの実証研究に長らく関わっている。

主要な業績

(著作・論文・研究
発表)

池田謙一編(2015)震災から見える情報メディアとネットワーク、東洋経済新報社。
池田謙一(2013)新版・社会のイメージの心理学、サイエンス社。
Ikeda,K.& Richey,S.(2011)Social Networks and Japanese Democracy. Routledge.
Wolf,M.R., Morales,L.and Ikeda, K.(Eds)(2010)Political Discussion in Modern Democracies. Routledge.
池田謙一 2007 政治のリアリティと社会心理、木鐸社。
池田謙一 2000 コミュニケーション、東京大学出版会。

社会活動・その他

2012-2016年度 日本学術振興会 東日本大震災学術調査実施委員会委員(兼)調査研究班統括責任者

所属学会

日本社会心理学会、国際コミュニケーション学会、日本政治学会他多数

キーワード

国際比較研究、政治参加、ソーシャルネットワーク、インターネット、ソーシャルリアリティ
https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/113013/113013_Researcher.html